

移行措置への対応方法

1 はじめに

新学習指導要領では、中学校の学習内容と小学校及び高等学校における学習内容との接続の観点を踏まえ、内容の改善・充実が図られています。その中で、表現をより適切でより豊かにするなどの目的で、**現行の学習指導要領では示されていない内容（語彙や文法事項等）が新たに加えられています。**

これにより、次年度から使用される新教科書では、各学年で学習する内容が再構成され、各学年における言語材料の配当が変更されています。そのため、**令和2年度の中学1年生と2年生が、移行措置が必要な言語材料を確実に学び、新教科書を用いた学習にスムーズに移行できるように手立てを講じる必要があります。**

〈移行措置を適切に行わないと…〉

【例】「There is[are] ～.」が2年生で未習状態になってしまう

令和2年度1年生



「There is[are] ～.」を取り扱っていない現行教科書で学習していると…

令和3年度2年生



新教科書では「There is[are] ～.」を1年生で取り扱うため、未習状態になってしまう。

このような未習状態に陥らないよう、文部科学省から令和2年度の中学1年生と2年生を対象に「新学習指導要領対応 中学校外国語教材 Bridge（以下、Bridge）」が配布されています。また、教科書会社からも移行措置関連資料が発行されています。それらを参考にして、本コンテンツでは、移行措置が必要な言語材料への対応方法を教科書ごとに示しています。ぜひ、今後の指導に御活用ください。

本コンテンツを使用する上での注意点

（注1） 本コンテンツは県内で広く使用されている教科書『NEW HORIZON English Course』【東京書籍】（以下、NEW HORIZON）と『SUNSHINE ENGLISH COURSE』【開隆堂】（以下、SUNSHINE）に特化したものとなっています。加えて、移行措置が必要な言語材料の全てを網羅しているものではありません。あらかじめご了承ください。

（注2） 本コンテンツにおける「言語材料」とは、新学習指導要領における「英語の特徴やきまりに関する事項」を示しています。

（注3） 本コンテンツにおける「文法事項」とは、新学習指導要領における「文、文構造及び文法事項」を示しています。

2 移行措置に用いる教材とその説明

移行措置に用いる教材とその説明を以下に示します（表1）。

【表1 移行措置に用いる教材とその説明】

	教材	説明
A	Bridge	・文部科学省から令和2年度の中学1年生と2年生に配布された移行措置関連資料です。新学習指導要領において新たに指導事項に追加された文法事項を取り扱うときに用います。英語で読んだり書いたり話したりするコミュニケーションを通して、理解を深めることができる構成となっています。
B	現行教科書	・移行措置が必要な言語材料が配当された学年の現行教科書を用いて指導を行います。1学年上の教科書を用いる場合は、英文の内容や語彙等が生徒の実態に合っているか吟味する必要があります。
C	新教科書	・移行措置が必要な言語材料は、新教科書においても繰り返し出てきます。令和2年度中に移行措置ができなかった場合は、令和3年度に指導を行うことができます。ただし、その場合は移行措置が行われていない言語材料を洗い出し、新教科書のどの単元で取り扱うか、計画を立てることが大切です。
D	教科書会社の移行措置関連資料	・教科書会社によっては、移行措置関連資料として学習プリントをウェブアップしています。現行教科書の内容と関連させて、移行措置が必要な言語材料を取り扱うことができます。
E	自作の学習プリント	・授業を行う教師自身で、自作の学習プリントを作成し、移行措置を行います。生徒の学習状況や授業の進度等に応じた指導を行うことができます。 ※第3回発信コンテンツにおいて、1単位時間で移行措置が必要な言語活動の指導ができる学習プリントのモデルを発信します。移行措置が必要な言語材料を、複数の領域においてスモールステップで指導できる構成となっています。ぜひ、御活用ください。

3 移行措置を行う時期と教材の例

移行措置が必要な言語材料をいつ、どのように取り扱うかを決めるのは各学校です。指導計画に確実に組み込みましょう。移行措置が必要な主な言語材料について、移行措置を行う時期とその際用いる教材を以下の4つのパターンで資料を示します（トップページ参照）。



Click here!

- [1 \(R2\) 現行教科書NEW HORIZONから \(R3\) 新教科書NEW HORIZONへ移行する場合](#)
- [2 \(R2\) 現行教科書NEW HORIZONから \(R3\) 新教科書SUNSHINEへ移行する場合](#)
- [3 \(R2\) 現行教科書SUNSHINEから \(R3\) 新教科書SUNSHINEへ移行する場合](#)
- [4 \(R2\) 現行教科書SUNSHINEから \(R3\) 新教科書NEW HORIZONへ移行する場合](#)

移行措置を行う時期については、共通した特徴をもつ表現を取り扱っている単元の中や言語の使用場面や言語の働きに応じて学習する機会を設定しています。また、新教科書における言語材料の配列も参考にしています。

資料には、移行措置が必要な言語材料の取扱いチェック欄を設けています。移行措置を行った言語材料にチェックを付けましょう。

4 終わりに

本コンテンツでは、移行措置への対応方法を具体的に提案しました。令和2年度の中学1年生と2年生が、移行措置が必要な言語材料を確実に学び、新教科書を用いた学習にスムーズに移行できるように、御活用いただければ幸いです。

《参考文献》

- ・ 文部科学省 『新学習指導要領対応 中学校外国語教材 Bridge』
https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1414459_00002.htm
- ・ 東書Eネット 『平成28年度版 NEW HORIZON 新学習指導要領の円滑な実施に向けた移行資料』
「It's the time ... (2) - 移行期から始める中高関連の指導 - 』
https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/ten_download/2018/2018098559.htm
- ・ 東京書籍 『NEW HORIZON English Course Book 1 年間指導計画一覧』
https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/chu/eigo/documents/eigo_nenkanshidoukeikaku1.pdf
『NEW HORIZON English Course Book 2 年間指導計画一覧』
https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/chu/eigo/documents/eigo_nenkanshidoukeikaku2.pdf
『NEW HORIZON English Course Book 3 年間指導計画一覧』
https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/chu/eigo/documents/eigo_nenkanshidoukeikaku3.pdf
- ・ 開隆堂出版株式会社 『令和2年度用中学校英語 移行措置の要点』
https://www.kairyudo.co.jp/contents/02_chu/eigo/h33iko/index.htm
『令和3年度用中学校外国語科 SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 「年間指導計画(例)」』
『令和3年度用中学校外国語科 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 「年間指導計画(例)」』
『令和3年度用中学校外国語科 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 「年間指導計画(例)」』
https://www.kairyudo.co.jp/contents/02_chu/eigo/r3/nenkei.zip
『言語材料・配当時数一覧』
https://www.kairyudo.co.jp/contents/02_chu/eigo/r3/gengo.pdf